



MCSCC とインドネシア・バリ州「サヌール開発財団」の覚書締結
及び大澤幸生東京大学教授の MCSCC 顧問就任等について

2022年11月16日

一般社団法人サイバースマートシティ創造協議会

一般社団法人サイバースマートシティ創造協議会(以下「MCSCC」という。2018年10月29日設立)は、日本の地方都市や農村、新興国におけるスマートシティの創造という目的のもと、このたび、以下のことを行うこととしました。

1. インドネシア・バリ州「サヌール開発財団」との覚書の締結

- MCSCC は、インドネシア・バリ州政府の仲介のもと、同州サヌール地区において地域開発を担う「サヌール開発財団」(Yayasan Pembangunan Sanur/Sanur Development Foundation)との間で、2022年10月26日、協力体制の構築に関する覚書を締結しました。
- MCSCC は経済産業省の令和3年度「質の高いインフラの海外展開に向けた事業実施可能性調査事業委託費(我が国企業によるインフラの海外展開促進調査事業)」を受託し、バリ州政府により進められている同州サヌール及びヌサペニダ地区でのEV特区における「スマートモビリティ・インフラ開発」に向けた調査(Feasibility study)を行ってまいりました。
- 今般、バリ州政府の仲介により、同州サヌール地区でホテルや交通事業者を含めて同地の地域開発を担うサヌール開発財団と密な協力体制を構築することとし、具体的には同財団の地域開発構想との整合を図りながらFSを踏まえたパイロット事業の方向づけを行うこととしています。
- サヌール地区は、2022年11月1日にインドネシア共和国の政令により、同国内初の保健分野における経済特区に指定され、国際水準の医療提供が期待されています。
- このように注目を集めるサヌールにおいて、地域課題を拾い上げ、課題解決型の取組を重ねていく一環として、地域課題について精通したサヌール開発財団と協力関係の強化を目指すこととしたものです。

2. 大澤幸生東京大学教授の顧問就任

- 2022年10月1日、東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻の大澤幸生教授が MCSCC の顧問(担当:AI)に就任しました。(IEEE Bigdata 2022 プログラム委員長/Asia Pacific AI Association フェロー/データ社会推進協議会(DSA)顧問等)

3. 壱岐キャンパス及び佐世保キャンパスの設置

- MCSCC は、会員企業・団体の所在地である全国・世界各都市に「キャンパス」を設置し、その地域を中心としたスマートシティの調査研究拠点としています。
- 今般、長崎県下において、株式会社 eMoBi ご協力の下で壱岐キャンパス、オーシャンソリューションテクノロジー株式会社ご協力の下で佐世保キャンパスを設置しました。

<お問い合わせ>

一般社団法人サイバースマートシティ創造協議会

グローバルハットクォーター：東京都港区東麻布1-7-7-3F AGD内

<https://matrix-cyber.org/>

contact@matrix-cyber.org